

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H 3 0 関東管内レーダ雨量計更新計画検討業務
業 務 概 要	本業務は、レーダ雨量計の近年の技術動向や既施設の観測精度等を踏まえ、レーダ雨量計の統廃合を含む更新計画等を検討するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 泊 宏 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成30年 4月23日
契 約 業 者 名	一般財団法人 日本気象協会
契 約 業 者 の 住 所	東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
契 約 金 額	¥14,968,800円（税込み）
予 定 価 格	¥14,990,400円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により選定を行った。 一般財団法人日本気象協会は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	平成30年 4月24日
履 行 期 間 （ 至 ）	平成30年 9月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。